

永岡英子さんに聞く

7月6日(土) 14時～(13時30分開場)

文京区民センター2A



昨年7月、二度に分けてオウム真理教もと幹部13名の死刑が執行された。7月6日に、松本智津夫さん(東京)、早川紀代秀さん(福岡)、井上嘉浩さん(大阪)、新實智光さん(大阪)、土谷正実さん(東京)、中川智正さん(広島)、遠藤誠一さん(東京)、7月26日に宮前一明さん(名古屋)、横山真人さん(名古屋)、端本悟さん(東京)、小池泰男さん(仙台)、豊田亨さん(東京)、広瀬健一さん(東京)である。

国がひと月のうちに13名もの命を絶ったことに多くの人は驚愕し、国家権力の恐ろしさを感じた。

私たちはそれに加えて、執行された一人一人に執行されてはならない理由があることを、伝え続けてきた。再審請求中であったこと、それも最初の再審請求中の者が5人もおり裁判所の判断を待つことなく執行されたこと、恩赦申立中の者もまた中央更正保護審議会の結論も出ぬまま執行されたこと、重篤な精神疾患にかかっていた者が数名おり国連や日弁連の勧告を無視した執行だったこと、直接殺人には関わらずオウム事件でなければ死刑判決が出るはずがない人もいたこと、多くの面で慣例を破った執行だったこと……。

そして半年後の12月27日、国は死刑確定者は再審請求中であっても死刑を執行する、オウム執行は特別な執行ではなかったと言わんばかりに、大阪拘置所で2名の死刑を執行したのである。

あれから一年、昨年執行された13人はなぜ国に殺されねばならなかったのか。そしてまた彼らが所属したオウム真理教とは何だったのか。

彼ら一人一人と、そしてその家族とこの30年を並走してきたオウム真理教家族の会の永岡英子さんに、お話を聞く。

オウム13人執行から一年

あの死刑執行を問いなおす

FORUM90

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-13 港合同法律事務所気付
TEL: 03-3585-2331 FAX: 03-3585-2330
振替口座: 郵便振替 00180-1-80456
加入者名: フォーラム90